

篠山市 20 年の歩みと丹波の森構想 ～市政 20 年周年基本コンセプト検討にあたって～

丹波の森宣言

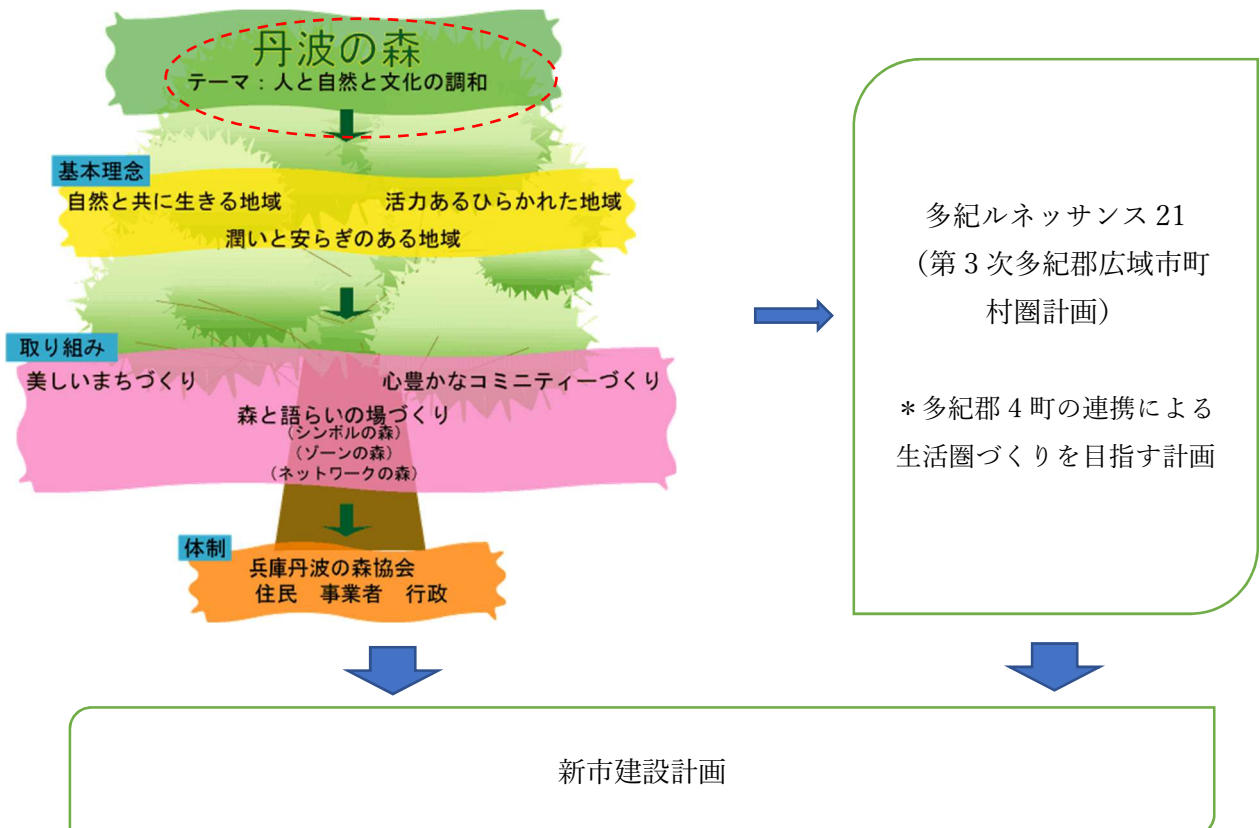
丹波の自然と文化は、現在および将来にわたる住民共有の財産であって、これを維持発展させることは私たちに課せられた重大な責務です。

今、私たちはこの責務を強く自覚し、お互いに力を合わせて、自然や文化を大切にしながら、これらを生かした「丹波の森」づくりを次のように進めることを宣言します。

- 1 丹波の健全な発展をそこなような自然破壊は行わず、森を大切に守り育てます。
- 2 丹波の自然景観を大切に、花と緑の美しい地域づくりを進めます。
- 3 丹波の文化景観及び歴史的遺産を大切に、個性豊かな地域文化を育てます。
- 4 丹波の素朴さと人情を大切に、安らぎと活力に満ちた地域づくりを進めます。

昭和 63 年 9 月 1 日

丹波の森構想



新市建設計画

(計画策定方針)

丹波の森構想(*)や第3次多紀郡広域市町村圏計画(多紀ルネッサンス21)の精神を受け継ぎつつ、魅力的なまちづくりを推進するうえでの指針を示す。

(*)丹波の森構想 = 人と自然と文化の調和した地域づくり

篠山市誕生

篠山市100人委員会提言

第1次篠山市総合計画
住みたいまち ささやま
人と自然の調和した田園文化都市

田園文化都市

第2次篠山市総合計画
人・自然・文化が織りなす食と農の都
～篠山の時代をつくろう～

農都(創造都市)

市制20周年

「丹波の森構想」実現に向けた20年

第3次篠山市総合計画

SDG's未来都市

丹波の森構想の理念